

漱石のほほえみ



桂 三四郎



エグスプロージョン



チャド・マレーン



第1部 平成28年度新宿区夏目漱石コンクール 優秀作品表彰式
審査講評:森 まゆみ(作家)



第2部 舞台とシンポジウム「漱石のほほえみ」
出演:エグスプロージョン、桂三四郎、チャド・マレーン ほかよしもとクリエイティブ・エージェンシー所属若手芸人
※尚、出演者は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

平成28年 12月11日(日) 14:00開演(13:15開場)

入場無料

早稲田大学大隈記念講堂 大講堂 (新宿区西早稲田 1-6-1)

申し込み方法

催し物名(「12月漱石イベント」)、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、希望人数(応募者含め最大2名まで)を記入し、はがきまたはFAXで下記までお送りください。

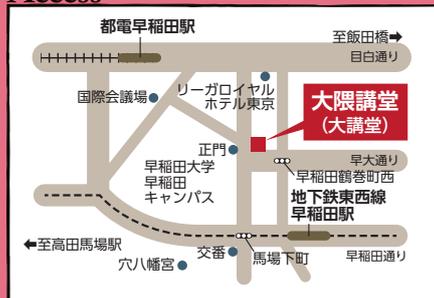
申込期間 平成28年10月17日(月)～平成28年11月4日(金) 必着

- はがきは往復はがきでなくて結構です ●小学生までは保護者同伴をお願いします(2名希望と記入)
- 定員1,000名程度。応募者多数の場合は、抽選し、11月中旬に、当選者のみに入場券をお送りします
- 応募に関する個人情報は、主催者が適切に管理し、本イベントにのみ利用します

申し込み先
問い合わせ先

新宿区文化観光産業部 文化観光課 文化資源係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 第一分庁舎6階
電話 03(5273)4126 FAX 03(3209)1500

Access



▶新宿区公式 HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
▶記念館 HP <http://soseki-museum.jp/>

主催

新宿区 SHINJUKU CITY

共催

朝日新聞社
早稲田大学

第1部

平成28年度 新宿区夏目漱石コンクール 優秀作品表彰式

【絵画】

「猫になって描いてみよう」

～わがはいはネコである」（小学生対象）

【読書感想文】

「わたしの漱石、わたしの一行」（中高生対象）

全国から応募された作品から優秀作品を紹介し表彰します。

【講評】

審査委員長 森 まゆみ（作家）

昭和 29 年 (1954) 東京都文京区生まれ。早稲田大学政経学部卒。出版社編集者を経て、昭和 59 年に地域雑誌「谷中・根津・千駄木」を創刊し、その後の谷根千づームのきっかけを作った。著書に「鷗外の坂」「青鞥」の冒険一女が集まって雑誌をつくるということ」など。



第2部

舞台とシンポジウム「漱石のほほえみ」

漱石は若い頃から落語や講釈が大好きでした。写真がどれも怖い顔、失礼!「威厳のある」顔ばかりなので、笑うことがあったのかと思ってしまいますが、きっと寄席では漱石も笑顔をを見せていたことでしょう。今年は漱石没後 100 年です。現代の笑いで雑司ヶ谷にお眠りの先生にびっくりしてもらおうと考えました。吉本興業は新宿区役所に近い旧四谷第五小学校の校舎に東京本社を置いており、そんなご縁で今回の企画にご協力いただきました。

出演

エグスプロージョン、桂三四郎、チャド・マレーン… ほか

◆エグスプロージョン



「本能寺の変」などの「踊る授業シリーズ」の動画配信で世界中にその名を広めた元祖エンタメダンスユニット。毎年ライブツアーを行うストリートダンサーでは異色の存在でありながら、森山直太郎等のアーティストや芸人への振り付け・ダンス講師をはじめ、役者としての芝居出演、イベントMC、小中学校でのダンス講師もこなす。

◆桂三四郎



平成 16 年 (2004) 桂三枝 (現六代目桂文枝) 一門に入門。古典から師匠譲りの創作落語まで、幅広いジャンルの上で落語と甘いルックスを武器に活躍中。主な出演番組にはMBSラジオ「MBSヤングタウン日曜日」がある。

◆チャド・マレーン



同名の漫才コンビとしても活躍するオーストラリア出身のお笑い芸人。海外出身でありながら流暢な関西弁を操り、舞台・TV・ラジオを中心に活躍中。お笑い芸人としてのスキルと語学力を活かした映像作品の翻訳にも活動の場を広げている。

記念館名称「新宿区立漱石山房記念館」に決定

新宿区は夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。漱石生誕 150 周年の平成 29 年 (2017) 9 月開館を目標に、記念館の整備を進めています。

この度、平成 28 年第 3 回定例会において新宿区立漱石山房記念館条例が可決され、記念館の名称が決定しました。

夏目漱石記念施設整備基金について

新宿区では、記念館の整備に多くの方々のご参画をいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置、平成 25 年 7 月から寄付の募集を開始し、約 8,682 万円 (平成 28 年 9 月 23 日現在) のご寄付をいただいております。ご厚志をお寄せいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。基金への寄付方法など詳しいことは、新宿区文化観光課文化資源係まで。

FAX用申し込み書

| | | | | |
|------|---|------|-----------|---------|
| フリガナ | | 希望人数 | ○を付けてください | 1名 ・ 2名 |
| 氏名 | | 電話番号 | | |
| 住所 | 〒 | | | |

障害のある方で配慮が必要な場合は、こちらにご記入ください。なお、内容によっては対応できないこともございますのでご了承ください。お電話での連絡が困難な場合は、連絡手段 (FAX 番号等) をご記入ください。

FAX番号 → **03-3209-1500** ※切り取らずにそのまま送信してください。

●はがきの申し込みは

- ①催し物名【12月漱石イベント】 ②郵便番号 ③住所 ④氏名(フリガナ)
⑤電話番号 ⑥希望人数(応募者含め最大2名まで)
を記入し、下記宛先までお送りください。

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 新宿区文化観光産業部 文化観光課 宛

申込期間

平成 28 年 10 月 17 日 (月) ~
平成 28 年 11 月 4 日 (金) 必着

募集方法は「広報しんじゅく」や区のホームページ、記念館のホームページにも掲載します。

※応募多数の場合は抽選となります。(当選者のみお知らせ)
※受付の順番は抽選に一切関係ありません。